

第1 交通指導取締り

平成18年は、交通事故による死者数を239人以下に抑止することを目標とした交通指導取締り活動を推進した。特に、交通死亡事故の分析結果からその抑止を図るため、主原因となっている「飲酒、速度、信号無視、一時不停止等、悪質違反及び、被害軽減効果の高いシートベルト等」を重点違反と定め事故多発路線・時間帯における取締りを実施した。

なお、取締り総件数は、223,074件で、前年に比べ8,694件、4.1%増加した。

また、交通指導取締りに従事した警察官及び交通巡視員の総数は、250,158人であった。

1 指導取締り総件数

			平成18年	平成17年	増減数	増減率
車 両	反則	成人	94,126	121,848	-27,722	-22.8%
		少年	5,401	6,640	-1,239	-18.7%
		小計	99,527	128,488	-28,961	-22.5%
	非反則	成人	7,381	8,746	-1,365	-15.6%
		少年	532	570	-38	-6.7%
		小計	7,913	9,316	-1,403	-15.1%
計		107,440	137,804	-30,364	-22.0%	
点数告知件数			115,548	76,537	+39,011	+51.0%
軽車両・その他						
関係法令			86	39	+47	+120.5%
合計			223,074	214,380	+8,694	+4.1%
交通警告カード交付			26,728	13,048	+13,680	+104.8%

2 月別取締り状況

	総件数	合 計		成 人		少 年	
		反 則	非 反 則	反 則	非 反 則	反 則	非 反 則
1月	8,811	8,256	555	7,851	512	405	43
2月	9,733	9,135	598	8,660	560	475	38
3月	8,603	8,118	485	7,679	449	439	36
4月	10,419	9,756	663	9,273	627	483	36
5月	9,830	9,212	618	8,654	569	558	49
6月	9,482	8,507	975	8,047	928	460	47
7月	8,637	8,018	619	7,530	570	488	49
8月	9,182	8,557	625	8,016	569	541	56
9月	8,560	7,630	930	7,187	889	443	41
10月	8,402	7,913	489	7,499	447	414	42
11月	8,676	8,048	628	7,633	572	415	56
12月	7,105	6,377	728	6,097	689	280	39
合 計	107,440	99,527	7,913	94,126	7,381	5,401	532

関係法令違反・点数告知違反を除く。

3 主要違反態様別取締り状況

	平成18年	平成17年	増減数	増減率
無免許運転	1,482	1,400	+ 82	+ 5.9%
酒酔い運転	57	50	+ 7	+14.0%
酒気帯び運転	3,909	4,089	- 180	- 4.4%
速度超過30km以上	2,415	3,737	-1,322	-35.4%
速度超過30km未満	39,758	52,337	-12,579	-24.0%
駐(停)車違反	4,496	4,782	- 286	- 6.0%
一時不停止	19,980	33,849	-13,869	-41.0%
信号無視	7,813	11,912	-4,099	-34.4%
積載物重量超過	159	147	+ 12	+ 8.2%
整備不良車両運転	2,470	4,286	-1,816	-42.4%
追越・通行区分違反	4,614	5,159	- 545	-10.6%
横断歩行者妨害	14	12	+ 2	+16.7%
踏切不停止	1,670	1,023	+ 647	+63.2%
右左折方法違反	41	10	+ 31	+310.0%
シートベルト	111,504	72,778	+38,726	+53.2%

4 ダンプカーの取締り状況

違反種別		平成18年	平成17年	増減数	増減率	
道	積載重量違反	92	83	+ 9	+10.8%	
	無免許・無資格運転	2	1	+ 1	+100.0%	
	飲酒運転					
	最高速度違反	17	7	+ 10	+142.9%	
	信号無視	33	35	- 2	- 5.7%	
	路	通行禁止制限違反	11	31	- 20	-64.5%
		踏切不停止				
		整備不良車両運転	85	33	+ 52	+157.6%
	交	通行区分違反				
		回転違反				
過労運転						
追越し違反						
通	割込み違反					
	歩行者保護義務違反					
	徐行場所違反					
	一時不停止	6	16	- 10	-62.5%	
	右左折方法違反					
	転落防止等措置義務違反	1	2	- 1	-50.0%	
法	その他	15	13	+ 2	+15.4%	
	合計	262	221	+ 41	+18.6%	

5 点数告知違反取締り状況

	総数	内数		
		運転者のみ	運転者同乗者	同乗者のみ
ベルト	111,504	109,901	229	1,374
ヘルメット	1,441	1,441		

	総数	内数	
		同乗者のみ	
		助手席	その他
チャイルドシート	2,574	1,921	653

6 違法駐車車両の移動措置状況

	合 計	水 戸	ひたちなか 西	土 浦	取 手
移 動 件 数	11	1	1	7	2

警察署管内。

7 暴走族取締り検挙状況

県内の暴走族は、週末を中心に周辺地域のグループが合同・連合化し、い集場所・走行時間・コース等を変えながら、依然として集団による爆音暴走を敢行しているほか、公務執行妨害や傷害等の刑事事件を引き起こすなど、一段と悪質・凶悪化の傾向にある。また、一部暴力団が面倒見と称して暴走族に介入するなど、暴力団との結びつきを強め予備軍的存在となっている。

一方、筑波山周辺道路や港湾道路、工業団地内道路等でのドリフト・ゼロヨン・ローリングといった違法競走型の暴走族が週末に出没し、一般ドライバーや付近住民に著しい迷惑や危険を及ぼしている。

このため、毎週末や年末年始、ゴールデンウィーク期間等には、警察本部に「暴走族総合対策室」を設置して、強力な取締りを実施するとともに、関係機関・団体と連携した総合的な暴走族対策を推進した。

その結果、平成18年中、暴走族による共同危険行為等の禁止違反で14グループ、58人を検挙したほか、「茨城県暴走族等による暴走行為の防止に関する条例」(騒音を発生させる消音器等の譲渡禁止・消音器切断等の禁止)違反を適用して、暴走族構成員等3名を検挙した。

また、ローリング族やドリフト族等に対しては、運輸支局との連携による取締りや交通規制の他、道路管理者と連携した交通安全施設の設置など各種対策を講じた。

(1) 暴走族い集・走行状況

	い集 走行件数	参加人員	車両台数		合計
			二輪車	四輪車	
平成18年	148	3,967	2546	50	2,596
平成17年	145	4062	2574	68	2,642
増減数	3	-95	-28	-18	-46
増減率	2.1	-2.3	-1.1	-26.5	-1.7

(2) 検挙状況

		平成18年	平成17年	増減数	増減率
交通 法 令 違 反	無免許運転	10	41	-31	-75.6
	整備不良	389	596	-207	-34.7
	共同危険行為	58	92	-34	-37.0
	道交法その他	53	290	-237	-81.7
	道路運送車両法	3	2	1	50
計		513	1,021	-508	-49.8
刑 法 犯 等	暴行・傷害	7	3	4	133.3
	窃盗	0	11	-11	-100.0
	その他	12	6	6	100.0
計		19	20	-1	-5.0
特別法犯		3	6	-3	-50.0
うち暴走族条例違反		3	5	-2	-40.0
		535	1,047	-512	-48.9

(3) 共同危険行為等の禁止違反事件検挙状況

	検挙事件	検挙・解体 グループ	検挙人員	押収車両		合計
				二輪車	四輪車	
平成18年	9	14	58	34	0	34
平成17年	10	18	92	38	0	38
増加数	-1	-4	-34	-4	0	-4
増減率	-10.0	-22.2	-37.0	-10.5	0	-10.5

第2 交通事故事件捜査状況

1 ひき逃げ事件発生状況

平成18年中におけるひき逃げ事件は、531件発生し、対前年比+93件であった。

死亡ひき逃げ事件については、21件発生し、対前年比4件の増加(+23.5%)であった。

(1) 死傷事件発生状況

		発生件数		前年対比	
		平成18年	平成17年	増減数	増減率
総件数		531	438	93	+ 21.2
ひき逃げ	死亡	21	17	+ 4	+ 23.5
	重傷	26	30	- 4	- 13.3
	軽傷	484	391	+ 93	+ 23.8

(2) ひき逃げ事件発生検挙状況

平成18年			平成17年			増減数		
発生	検挙	検挙率	発生	検挙	検挙率	発生	検挙	検挙率
531	150	28.2	438	108	24.7	+ 93	+ 42	+ 3.5